

平成30年度第1回北杜市行政改革推進委員会会議録

- 1 開催日時 平成30年8月21日（火） 午後2時から
- 2 開催場所 北杜市役所北館3階 大会議室
- 3 出席委員 小川昭二、舩木良、村田俊也、荻原久、北原兵庫、佐々木百合、栗澤雅子、清水京子
- 4 欠席委員 藤原真史
- 5 出席本部員 渡辺市長、菊原副市長、堀内教育長、櫻井政策調整参事、小松企画部長、丸茂総務部長、篠原市民部長、浅川福祉部長、仲嶋生活環境部長、清水産業観光部長、土屋建設部長、中田会計管理者、井出教育部長、山内議会事務局長、上村監査委員事務局長、小尾農業委員会事務局長、清水明野総合支所長、坂本須玉総合支所長、土屋高根総合支所長、中澤長坂総合支所長、小澤大泉総合支所長、中山小淵沢総合支所長、宮川白州総合支所長、有泉武川総合支所長、小澤政策秘書課長、清水財政課長
- 6 欠席本部員 なし
- 7 事務局 加藤企画課長、行革担当 跡部、浅川、坂口
- 8 会議録署名 清水委員、村田委員
- 9 公開・非公開の別 公開
- 10 傍聴人 1人

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 市長あいさつ

4. 議 事（議長 小川会長）

- (1) 第4次北杜市行財政改革大綱（平成29年度～平成31年度）の内容の一部改正等について説明をする。

議 長 委 員 議 長	第4次北杜市行財政改革大綱の一部改正等については、よろしいか。 異議なし。 委員のみなさん了解ですので、このとおり進めてください。
-------------------	---

- (2) 平成29年度第4次北杜市行財政改革アクションプラン取組状況等について説明をする。

質疑応答

委 員

No.4 総人件費の抑制について、定員適正化計画とはどのようなものか。

丸茂総務部長

定員適正化計画は、平成28年から平成32年までの5年間で、職員数を10人削減するというもの。平成32年4月1日の職員数を、病院と診療所を除いて552人とする。ちなみに、今年の4月1日で、職員数は551人となっているので、既に目標をクリアしている状況である。

委 員

企業であれば、仕事量を考えて人員を確保していくところ。最近、長期労働や障害者雇用が問題となり、仕事量により、人員を決めていくのが大切ではないかと思う。企業でも、できるだけ残業しないためにはどうすればよいかを考えている。少子高齢化で、雇用したくても雇用できない、田舎では学生の数が少なくてアルバイトもない。最近、求人を出すと60歳以上の方が来て、若い方が来ない。市で雇用しようと考えても、職場環境が良くなければ、人が来てくれない状況になってくる。予算による人数あわせだけでは上手く行かないと思うので、552人が仕事量に対して、適正かどうかということをお伺いしたい。病院関係は除くという点は、良いと思う。

丸茂総務部長

7月まで産業観光部で仕事をしていましたが、実際仕事量が多いと思う。イクボス宣言をした中で、できるだけ早く帰るために相互に助け合っているが、新規事業の対応などでなかなかそうもいかないこともある。職員は551人だが、正規職員が定員管理の中で人数を増やせない中では、臨時職員や嘱託職員480人でカバーしてもらいながらやっている状況。障害者雇用については、これまでは2.3%という雇用目標があり、北杜市は2.35%でクリアしていた。この4月から、目標が2.5%となり、これはまだ北杜市はクリアできていないので、今後の課題である。

委員

収納率の向上について、ひと家族でいくつかの項目で該当しているのではないかと思う。経済環境が悪化していく中で、現在も連絡をとったり、細やかな対応をしていると思うが、今後、抜本的な解決をするためにどのような取組をしていくのかを伺いたい。

委員

関連した質問として、収納率の向上について。滞納処分の実施により一定の成果をあげていると思うが、困難事案については、職員ではなく、取立てのエキスパートをお願いすることはできないか。

丸茂総務部長

税の関係についてお答えする。市税滞納繰越分の収納率のこれまでの状況を見てみると、20%くらいで推移している。昨年度、収納率が落ち込んだのは、重い滞納案件があるため。滞納整理の件数は増えているが、課題の多い滞納が残っているため、収納率を上げるのが難しい状況になっている。山梨県地方税滞納整理推進機構からアドバイザーを迎え、専門的に差押えや競売など滞納整理の実務を教わっている。アドバイザーには、市に来て研修をしていただいたり、税だけでなく水道料や保育料などについても、助言をいただいている。

滞納整理を565件行っているが、ほとんどが給与・年金・保険・還付金の差押えとなっているため、金額的には多くはない。取立てについては、専門の方を雇うという形ではなく、アドバイザーに指導いただきながら進めていく。

仲嶋生環部長

水道料については、年間5期に分けて収納しているが、現年分について新たな滞納が発生しないよう、滞納時期が3期以上となる前に、給水停止をして滞納を防ぐ取組をしている。民間業者に委託している部分についても、収納を強化している。引き続き、収納率の向上に努める。

土屋建設部長

住宅使用料収納率については、現年分は昨年度を上回っているが、滞納繰越分については目標を達成できなかった。入居者の公平性を保つために、現年分の収納を強化しているところ。困難案件については、民事訴訟法に基づく対応を、弁護士や法律の専門家に相談しながら、進めていくことを検討している。

井出教育部長

学校給食費の収納率について説明させていただく。現年度分、滞納繰越分で目標を下回った。現年分については、臨戸訪問をして、滞納をためないよう保護者の方に納入をお願いしているところ。滞納繰越分については、過去からの分がたまっており、納付義務者が市から転出されているものなど、収納が非常に難しい状態にある。これらの状況を踏まえ、私債権管理条例に基づき必要な対応をしていきたい。

浅川福祉部長

保育料の未納について、お答えする。保育料については、入園審査で直接保護者と関わるので、その時に働きかけをしている。納付方法が、納付書払いで未納になることが多いので、なるべく口座振替をしていただくようお願いしている。

委員

確認だが、北杜市に住んでいて、例えば学校給食費であれば、小学生のときに給食を食べていて、成人しても払っていない、そうすればそれが滞納になるか。

井出教育部長

学校給食費の滞納繰越分については、私債権のため、5年間で時効を迎える。しかし安易に時効を迎えるというのではなく、私債権管理条例に基づき適切な経過を踏んで進める必要がある。

委員

関連した質問だが、収納率では、見てすぐにその効果がわからないので、金額で表記してはいかがか。金額ならば、これくらいの金額で人件費を掛けて取りに行かなくてもいいのではないか、などの判断ができる。企業からすれば、売掛金を回収しなければ、経営が上手くいなくなる。北杜市に月々の収入がいくらあって、滞納がどれくらいを占めるのか、何件あって、いくらになるのかを載せてもらおうとピンとくるのではないか。自分の部署の分は、滞納が何件あって、どれくらいの金額かということは分かるが、他の部署の人はわからない。行政改革をやる以前の問題で、情報は共有しないといけない。想像するに、保育料を滞納する人は、給食費も滞納する人ではないかと思う。滞納額を明らかにした上で、費用対効果を考えなければいけない。

議 長

データとしてあれば提示していただき、検証する必要があるれば、次回の委員会で教えていただくという方法もある。いかがか。

加藤企画課長

件数・金額についても、データとして把握している。ただ市の債権ということで、金額の多い少ないを測るのではなく、率で見えていただければと思う。お示しできるものについては、どのような形でお示するのがよいかについても検証しながら、対応させていただきたい。

委 員

全体で6割を超えるものが達成度Aというのはすばらしい。一方、達成度がCのものが2つほどある。職員提案制度について、提案が0件ということだが、皆さんが取り組んでいる仕事の中で課題は感じているが提案として基準が高く出しづらいのか、周知が徹底されておらず広い対象からすくい上げることが難しいのか、現状認識として、どういったことが課題なのか。今後どういった方法で件数を増やしていくのかについて伺いたい。皆さんが課題を持ってやっているところを、形にして改善をしていくのが大事かと思う。

丸茂総務部長

職員の提案制度について、特別難しい提案を求めているわけではない。若手の職員からの提案が多いが、こんなことを改善したらよいのではないか、こんな福利厚生をやったらどうかといった、極めて敷居の低い形で提案制度を設けている。提案があれば、部長会議の中で発表してもらい、これはいい、もしくはもう少し改善した方がいいという意見をもらいながらまとめていく。昨年度は、残念ながら0件であったが、今年度は、既に3件の提案を受けているところ。過去に提案された事例としては、職員休憩所の設置などがあり、活用されている。

委 員

事例を聞いて安心した。職員の提案制度については、とても難しいものを求められているのかと思ったが、仕事をしながらの小さなアイデアを、上の人が聞く耳を持ってくれているのが分かって良かった。職場が良くなれば、住民サービスにつながると思う。

委 員

関連して伺いたい。職員提案制度について、3件という目標が、多いか少ないかといったら、職員が500人を越えている中で、年間で提案が3件というのは少ないと思う。例えば、民間の会社だと、1週間に1回、何かを提案しろということも多い。なぜ提案が出ないかということ、もう少し掘り下げていく必要がある。例えば、提案があった場合には、部長会にかけられるということだが、提案者が部長会で発表するということがハードルになっている場合も考えられる。提案することで、イン

センティブが働く、モチベーションを高めるようなものがあれば、もっと出てくるのではないか。業務が忙しい中で、それをやることが自分にとってどんな意味があるのかについて、どう考えているのか教えて欲しい。

丸茂総務部長

何らかの職員の皆さんが提案しやすいような環境づくりについては、改めて総務課内で検討していく。また、この職員の提案制度のほかにも、北杜盛り上げ隊というものがあり、通常の業務の中ではできないテーマについて取り組んでいる。具体的には、例えばユネスコエコパークについて地域の小学生を対象に、地域の方にもご参加いただきながら、歴史や文化を学ぶ機会を設けるなどの活動をしている。

委員

全体を見させていただいて、非常に頑張っているという印象である。ただ3つほど聞きたいところがある。

ひとつは、No. 25 の住宅使用料の滞納について、今後の課題に「収納、債権回収のための課内体制が整備されておらず、職員研修も実施されていない」と書かれている。他の課の課題には、このようなことが書かれておらず、同じ取組をしているのに、横のつながりが感じられない。連携をとりながら、ノウハウを共有しながら、取り組むことはできないのか。

2つめは、No. 29 の個人市・県民税の特別徴収事業者数である。大幅に目標をクリアしており、問題はないが、目標件数の設定が低すぎるのではないかと思う。目標を途中で変えるということは、できるのかどうか。

最後に、自主財源の確保という意味で、ネーミングライツについて検討はしているかどうかについて伺いたい。北杜市の丘の公園でネーミングライツを検討しているということがニュースになっていた。北杜市は、とてもいいイメージがあるので、使えるところがあるのではないかと思う。

土屋建設部長

No. 25 の住宅使用料の滞納について、今後の課題について書かせていただいたとおりであるが、滞納者は、住宅使用料に限らず、市税などでも滞納があることが多いので、収納課と連携をとりながら進めていく。住宅使用料については、滞納整理の管理要綱が定めてあるが、更に分かりやすいマニュアルを、今後整備していく予定である。

加藤企画課長

2つめの、目標の見直しについてだが、実績が目標とかけ離れているものがあれば、目標は正しかったのかという議論が必要になると思われる。

るので、行革推進本部でも議論しながら、必要な見直しは図っていく。

ネーミングライツについては、過去に導入を検討したことがあるが、効果が見出されず、これまでは実施されていない。周りの状況を見ながら、市にとってどれくらいの効果があるかを検証しながら、進めて行きたい。

委員

クラウド化について質問だが、色々な検討を進めた上で、現状システムの把握が今後の課題だとしているが、移行経費は問題ではないか。

小松企画部長

経費も含めた中で、課題となる。

(3) 第4次北杜市行財政改革大綱 普通会計の中・長期見通しについて説明をする。  
質疑なし

(4) 平成30年度事務事業外部評価（平成29年度実施事業）について説明をする。

議長

各部局から抽出した24事業のうちから、評価人が評価を希望する4事業を選定する必要があるが、前回と同様、委員会終了後に時間をとり、協議したいがよろしいか。

委員

異議なし。

(5) 今後の日程について説明をする。  
質疑なし

(6) その他

北杜市公共施設等総合管理計画に基づく個別計画策定について説明する。  
質疑なし

5. 閉会